

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
平成29年度事業報告

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

1. 第7回定時会員総会

期日：平成29年5月29日(月)

場所：東京理科大学森戸記念館第1フォーラム

議事：

- (1) 平成28年度事業報告並びに決算報告および剰余金処分(案)ならびに会計監査報告の承認に関する件
- (2) 平成29年度事業計画並びに予算(案)の承認に関する件
- (3) 特別講演

「改正FIT法の施行で基幹電源を目指す太陽光発電の課題と対策～日本太陽エネルギー学会に期待される役割～」一般社団法人日本太陽エネルギー学会 会長 和田善久氏

- (4) 表彰 担当：表彰委員会(委員長：須永修通)

次の方々に各学会賞を贈り表彰した。(敬称略)

- 1) 2016年度 功労賞

田中忠良(元産業技術総合研究所)

- 2) 2016年度 論文賞

論文表題「太陽電池の出力低下診断手法における%電力量の精度向上に関する研究」

掲載号 Vol. 41, No. 3 (227号) 山中三四郎, 青山泰宏, 西戸雄輝, 小林 浩

- 3) 2016年度 押田賞

論文表題「 Na_2S 水和反応を利用する化学潜熱の反応特性改善」掲載号 Vol. 41, No. 1 (225号)

田中耕太郎, 有山雄己

- 4) 2016年度 奨励賞(学生部門)

論文表題「遮光法による太陽電池モジュールの屋外直接STC性能評価の可能性検討」

川越一真(長岡技術科学大学)

論文表題「CPV用マイクロレンズの温度変化が集光性能に及ぼす影響の評価」

谷野恭平(長岡技術科学大学)

論文表題「大規模太陽光発電施設における太陽電池パネル故障診断ロボット(自律故障認識システム)」

平野弘祐(日本大学)

論文表題「PV電力予測に用いる差分ベクトル法の探査条件の提案」 祇園弘貴(岡山大学)

論文表題「エジェクタ冷凍サイクルによる太陽熱利用冷却システムの開発」 新井優太(慶応義塾大学)

論文表題「複合機能を有する有機薄膜太陽電池の出力評価及び透過光評価」 飯野太智(諏訪東京理科大学)

論文表題「縦型上下外開き窓を有する片側開口居室の気流性状と外部風向の関係」

渡邊玲央(首都大学東京)

-1-

論文表題「ソルボサーマル法による粒子形状を制御した $\text{Pb}_2\text{Ru}_2\text{O}_{7-\delta}$ 触媒の合成と光化学的水の酸化・プロトン還元能の評価」 小林昌広(東京工業高等専門学校)

論文表題「4,4'-bipyridineを架橋配位子とした金属有機構造体を用いた非白金系酸化還元触媒の開発」

新堀雄麻(東京工業高等専門学校)

論文表題「ソーラーチムニーを用いた太陽熱駆動換気システムの性能評価」 檜出 亮(東京農工大学)

論文表題「GaN半導体を用いた太陽電池用昇降圧MPPTの開発」 濱仲真和(愛知工業大学)

論文表題「実在建物に導入されたクールヒートトレンチの周壁伝熱特性を考慮した年間性能予測に関する研究」

牟田彬俊(北九州市立大学)

- (5) 懇親会 参加者：35名

2. 理事会

第39回理事会 平成29年7月18日(火)

第40回理事会 平成29年9月12日(火)

第41回理事会 平成29年10月25日(水)

第42回理事会 平成30年1月16日(火)

第43回理事会 平成30年3月13日(火)

第44回理事会 平成30年5月8日(火)

第39回ならびに第43回は出席理事が過半数に達しなかったため決議事項については定款第32条第2項により理事全員の承諾を得て理事会決議とした。

3. 各種委員会活動

3.1 事業委員会(委員長:木村英樹)

(1) 各種委員会・部会と連携してセミナー・講演会を企画した。

(2) 「電気自動車・燃料電池車・ソーラーカー製作講習会」

開催日:平成30年2月24日(東海大学代々木キャンパス) 参加者:223名

3.2 広報委員会(委員長:山田昇)

(1) 「第12回再生可能エネルギー世界フェア」(協賛) 開催日:平成29年7月5日~7日

会場:パシフィコ横浜 本会はアカデミックコーナーに出展した。 入場者数:26,938名

(2) 適時学会ホームページを更新した。

(3) 会員サービス充実と学会知名度向上を図るためアオーレ長岡で開催した研究発表会において参加者アンケートを実施した。24名から回答があり提案や要望内容を検討した。

3.3 学会誌編集委員会(委員長:埴藤徳)

(1) 学会誌「太陽エネルギー」発刊

Vol. 43, No. 3 239号 平成29年5月(72頁)

Vol. 43, No. 4 240号 平成29年7月(97頁)

Vol. 43, No. 5 241号 平成29年9月(84頁)

Vol. 43, No. 6 242号 平成29年11月(70頁)

Vol. 44, No. 1 243号 平成30年1月(110頁)

Vol. 44, No. 2 244号 平成30年3月(72頁)

以上、通巻239号から244号を発行した。

(2) 研究論文・技術論文・短報は16編を掲載した。

(3) 研究講演会・セミナーの講演要旨を学会誌特集記事として掲載した。

(4) 投稿規定・執筆要領の改訂にあたり「著作権規定」の改定案を審議した。

(5) 学会誌「太陽エネルギー」のJ-STAGE(科学技術振興機構)登載を申請し採択された。(公開方法検討中)

3.4 出版委員会(委員長:秋澤淳)

(1) 「[改訂] 新太陽エネルギー利用ハンドブック」は15冊を販売した。

(2) 「太陽光発電システムの定期点検及び不具合調査に関するガイドラインについての報告書」

(JET編)第2版は63冊,CD-ROM28枚を販売した。

3.5 国際交流委員会(委員長:佐藤春樹)

韓国太陽エネルギー学会(KSES)秋季大会(2017年10月19日開催)の招待を受け太田勇研究発表会運営委員長が参加した。

3.6 研究発表会運営委員会(委員長:太田勇)

平成29年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会を開催した。

(1) 期日:平成29年10月25日(水)~27日(金) 会場:アオーレ長岡(新潟県長岡市) 参加登録者数:214名

1) 一般講演論文:115件 ポスター:12件

2) 市民公開講座・再生可能エネルギー安心社会構想委員会公開講座「地域ポテンシャルを生かした地産地消型コミュニティの実現に向けて」(平成29年10月26日(木)) 参加者:55名

[話題提供] 金子淳一氏・石井美孝氏・伊藤親臣氏・小坂井恒一氏・高橋勉氏・片桐裕則氏

3) 特別チュートリアル講演(平成29年10月25日(水)) 「太陽電池の基本特性を理解するための等価回路モデルとその考察」 柴田肇氏(産業技術総合研究所) 参加者 42名

4) 特別講演・市民講演会

特別講演Ⅰ:「雪利用最前線~食品熟成からデータセンターまで~」長岡技術科学大学教授 上村靖司氏

特別講演Ⅱ:「長岡地域および新潟県の産業・エネルギーのあゆみと企業家たちの足跡」長岡大学教授 松本和明氏
参加者:75名

5) 懇親会(平成29年10月25日(水)) 長岡グランドホテル 参加者:72名

6) 見学会(平成29年10月25日(水))

長岡フェニックスメガソーラー発電所,石油資源開発株片貝ガス田,株朝日酒造 参加者:57名

(2) 次年度(平成30年度)開催地

会場：くにびきメッセ(島根県松江市) 開催日：平成30年11月7日(水)～9日(金) 見学会：平成30年11月7日(水)

3.7 学会活性化委員会(委員長：西川省吾)

各種講演会, セミナー等を通じて学会知名度向上を図った。

3.8 学会規定委員会(委員長：光田憲朗)

学会誌編集委員会と協力して著作権規定改定作業を実施した。

3.9 表彰委員会(委員長：須永修通)

(1) 平成29年度論文賞は平成28年・平成29年学会誌掲載28編の中から1編を選考した。奨励賞(一般部門)ならびに伊藤直明賞は1名を選考した。

奨励賞(学生部門)はポスター発表2名を含む13名を選考した。(各賞受賞者は別掲)

(2) 功労賞 次の受賞者を選考し第8回定時会員総会において表彰することとした。

脇坂健一郎氏(株)フジキン/元パナソニック(株)

(3) 学会賞は学術部門・技術部門とも応募・推薦がなかった。

3.10 再生可能エネルギー安心社会構想委員会(委員長：大野二郎)

研究発表会での公開講座(平成29年10月26日)を開催した。(前掲 市民公開講座)

4. 部会活動

4.1 太陽熱部会(部会長：山田 昇)

(1) 太陽熱導入促進策勉強会(主査：秋澤 淳)

1) セミナー「太陽熱利用の導入促進に向けた取り組み」(平成29年4月28日開催/東京理科大学森戸記念館第2フォーラム)参加者24名

2) セミナー「太陽エネルギーを利用する住宅の未来像」(平成29年6月19日開催/東京理科大学森戸記念館第1会議室)参加者25名

3) セミナー「太陽熱利用を促す公共政策を考える」(平成29年8月24日開催/東京理科大学森戸記念館第3会議室)参加者22名

4) セミナー「太陽熱を利用した冷房空調～クーリング」(平成29年11月13日開催/東京理科大学森戸記念館第3会議室)参加者22名

(2) 講演会「太陽熱・未利用熱利用の新展開」

主催：日本エネルギー学会(東北支部)、共催：日本太陽エネルギー学会/(平成29年10月25日開催/アオーレ長岡)参加者22名

(3) 「エコプロ2017」に出展 会期 平成29年12月7日～9日 会場 東京ビッグサイト東ホール

4.2 太陽光発電部会(部会長：西川省吾/第22回セミナーより加藤和彦氏が就任)

(1) 第19回セミナー「これからの太陽光発電」(平成29年7月24日開催/ハロー会議室東京駅前ビル)参加者:48名

(2) 第20回セミナー「改正FIT法向け事業計画・保守ガイドラインの解説と関連技術課題」(平成29年8月1日開催/東京理科大学森戸記念館1フォーラム)参加者 63名

(3) 第21回セミナー「太陽光発電の需給制御と発電予測技術」(平成29年8月28日開催/東京理科大学森戸記念館第2フォーラム)参加者 46名

(4) 第22回セミナー「屋外における太陽電池モジュールおよびストリングの電流-電圧測定に関する技術解説」(平成29年11月22日開催/森戸記念館第1フォーラム)参加者 40名

(5) 第23回セミナー「太陽光発電の構造設計」(平成29年12月14日開催/森戸記念館第2フォーラム)参加者43名

(6) 第24回セミナー「太陽光発電設備の保安点検に用いる各種測定機器に関する技術解説」

(平成29年12月18日開催/ハロー会議室秋葉原駅前)参加者 60名

(7) JSES/JWEA 合同研究発表会併設チュートリアル講演

(前掲 3.6 研究発表会運営委員会で詳述)

(8) 日本電気協会「需要設備 保安管理分科会 保安管理小委員会」への参画

日本電気協会(JEA)から委嘱を受け平成29年度は2回の委員会に出席した。

4.3 ソーラー建築部会(部会長：太田 勇)

(1) 見学会 涼を呼ぶまち「エムスマートシティ熊谷」(平成29年9月8日開催)参加者 9名

(2) 「東急建設技術研究所 管理棟ZEBリニューアル」見学会(平成30年3月20日開催)参加者 24名

4.4 光化学・バイオマス部会(部会長：埴 藤徳)

第9回研究講演会「光合成と人工光合成の最新情報」を企画したが担当が多忙のため代替措置として学会誌243号に「人工光合成」と題して7件の記事からなる特集を掲載した。

4.5 グリーン水素・北方圏研究部会(部会長：三木康臣)

(1) JSES/JWES 年次大会における北方圏セッション

(平成 29 年 10 月 27 日/アオーレ長岡)参加者 18 名

(2) 第 1 回セミナー「グリーン水素科学」(平成 29 年 11 月 1 日開催/森戸記念館第 2 フォーラム) 参加者 12 名

(3) 「水素エネルギーフォーラム」(平成 29 年 11 月 26 日開催/稚内総合文化センター) 参加者 30 名

4.5 100%再生可能エネルギー研究部会(主査 秋澤 淳)

講演会・見学会(平成 29 年 9 月 15 日開催) 講演会：日本大学工学部(郡山市)

見学会：産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 参加者 6 名

5. 関西支部の活動(支部長：吉田篤正)

(1) 幹事会は 3 回実施した。

(2) 見学会(平成 29 年 9 月 13 日開催)グリーンエネルギー津 バイオマス発電所・JMU LNG 運搬船・JFEE 橋梁巨大構造物
参加者：25 名

(3) 第 39 回シンポジウム「再生可能エネルギー発電の普及発展を目指す取り組み」(平成 29 年 11 月 22 日開催)/ 大阪市立大学 文化交流センター 参加者:30 名

6. 会員推移

今年度の会員数推移は下記の通りとなった。

・当期(平成 29 年度)新入会員 個人会員 27 名, 学生会員 47 名

・当期末(平成 30 年 3 月 31 日)の会員数

名誉会員 1 名 終身会員 27 名 個人会員 638 名 学生会員 67 名 合計 732 名

学校会員 3 校 団体会員 44 団体

平成 29 年度一般会計収支報告

自：平成 29 年 4 月 1 日 至：平成 30 年 3 月 31 日

一般会計

収入の部

(単位：円)

科目	予算	実績
前期繰越金	2,598,264	2,598,264
会費	15,180,000	13,970,600
学会誌・書籍	1,890,000	1,975,000
雑収入	185,000	176,947
研究発表会	3,400,000	2,908,840
各種事業・部会	2,650,000	3,263,918
当期収入	23,305,000	22,295,305
合計	25,903,264	24,893,569

支出の部

(単位：円)

科目	予算	実績
会議費	680,000	484,408
学会誌・他印刷	4,610,000	4,496,788
支部交付金	250,000	250,000
賛助会費	123,500	123,500
研究発表会	2,250,000	2,247,984
見学会・講演会	1,340,000	1,256,172
維持経費	3,545,000	3,700,242
人件費	9,655,000	9,780,614
事業税・消費税	326,100	326,100
税理事務所報酬	520,000	518,400
当年度支出計	23,299,600	23,184,208

特別会計(出版事業)

収入の部

(単位：円)

科目	予算	実績
前年度繰越金	73,475	73,475
書籍売上	1,000,000	461,160
合計	1,073,475	534,635

支出の部

(単位：円)

科目	予算	実績
販売経費	300,000	22,396
期首棚卸し資産		2,551,408
期末棚卸し資産		2,067,520
合計	300,000	506,284
次年度繰越金		28,351

貸借対照表(平成30年3月31日)

(単位:円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
I 資算の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	41,979	未払金	260,000
普通預金	7,035,224	前受金	296,000
定期預金	20,867,076	預り金	92,598
2. 出版物棚卸し資産		2. 固定負債	
	2,067,520	職員退職給与引当金	8,647,421
3. 未収入金		負債の部合計	9,296,019
	9,500	III 正味財産の部	
4. 前払い費用		1. 別途積立金	18,900,000
	113,770	2. 表彰資金積立金	201,338
		3. 繰越利益剰余金	
		前期繰越利益	2,671,739
		当期利益	▲934,027
		次期繰越金	1,737,712
合計	30,135,069	合計	30,135,069

損益計算書

自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日

収入の部

(単位:円)

項目	非収益事業	収益事業	合計	備考
1. 会費収入	13,970,600		13,970,600	
2. 事業収入	5,791,647	2,994,218	8,785,865	
学会誌・書籍類		1,975,000	1,975,000	定期購読・広告等
書籍		745,142	745,142	
各種部会講演会・見学会	2,262,576		2,262,576	
ソーラーカー講習会	626,640		626,640	
同上テキスト広告		90,720	90,720	
研究発表会登録費等	1,592,000		1,592,000	
見学会・講演会	461,000		461,000	
論文集売上げ・広告		147,840	147,840	
助成金・その他	708,000		708,000	
雑収入・その他	90,000		90,000	
著作権料		35,299	35,299	
特別会計収入(表彰資金)	50,000		50,000	
受取利息	1,431	217	1,648	
合計	19,762,247	2,994,218	22,756,465	

支出の部

管理費は非収益事業と収益事業収入から按分した

項 目	非収益事業	収益事業	合 計	備 考
1. 事業支出	4,239,298	86,784	4,326,082	
諸会費(交付金・協賛金)	340,605	32,895	373,500	関西支部・ソ振協
雑費	21,816		21,816	
部会支出	884,588		884,588	
ソーラーカー製作講習会	277,501		277,501	
研究発表会開催費	70,000		70,000	
研究発表会見学会等	560,290		560,290	
論文集印刷費	1,006,392	53,889	1,060,281	論文集・プログラム
その他経費	557,413		557,413	
退職給与引当金繰入	520,693		520,693	
2. 管理費	16,288,780	3,005,630	19,294,410	
職員給与	7,433,008	1,126,192	8,559,200	
福利厚生費・法定福利費	608,521	92,200	700,721	
広告費(HP・パンフレット)	56,273	8,527	64,800	
会議費(総会・理事会)	318,663		318,663	
会議費(その他)	3,709	562	4,271	
旅費交通費	584,644	88,581	673,225	
通信費	812,442	123,095	935,537	
消耗品・雑費	454,726	68,898	523,624	
水道光熱費	101,136	15,324	116,460	電話料・郵送料
賃借料	1,354,740	205,260	1,560,000	複写機カウント料
リース代	338,205	51,243	389,448	
学会誌制作費	2,897,164	438,956	3,336,120	複写機・ルーター
原稿料	500,211	75,789	576,000	
書籍印刷・発送費		600,367	600,367	
支払い報酬	450,190	68,210	518,400	
学会賞	152,745	8,729	161,474	
租税公課	222,403	33,697	256,100	
合 計	20,528,078	3,092,414	23,620,492	
税引前当期損益	▲765,831	▲98,196	▲864,027	
法人税・住民税・事業税		70,000	70,000	
当期純損益	▲765,831	▲168,196	▲934,027	

(第2号議案)会計監査報告

平成29年度会計監査報告書

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
会長 太和田善久 殿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会平成29年度(平成29年4月1日より平成30年3月31日)の決算について一般社団法人日本太陽エネルギー学会定款第37条に基づき、決算書、帳簿、伝票、証憑書類を監査した結果、適正に処理、記載されていることを確認した。

平成30年5月24日
監事 相曾一浩 印
監事 城出浩作 印

一般社団法人日本太陽エネルギー学会

平成30年度事業計画案

自：平成30年4月1日

至：平成31年3月31日

1. 第8回定時会員総会

期日：平成30年5月30日(水)

会場：東京理科大学森戸記念館第1フォーラム

議事

- (1) 平成29年度事業報告並びに決算報告および剰余金処分(案)ならびに会計監査報告の承認に関する件
- (2) 平成30年度事業計画並びに予算(案)の承認に関する件
- (3) 定款改定の件
- (4) 第5期役員選出に関する件
- (5) 平成29年度学会各賞選考報告
- (6) 特別講演「再生可能エネルギー100%への国内外の最新動向」
認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所 松原弘直氏

2. 理事会

6回/年 開催し、遅滞なく業務を執行する。

3. 各種委員会

3.1 事業委員会

- (1) ソーラーカー製作講習会は東日本地区で開催を企画する。
- (2) 気象関連セミナーを企画する。

3.2 広報委員会

- (1) 「第13回再生可能エネルギー世界展示会」出展(平成30年6月20日～22日開催・パシフィコ横浜)の同展アカデミックコーナーに本会ブースを設け本会の活動内容をPRする。
- (2) 「エコプロダクツ展2018」出展
(平成30年12月6日～8日開催・東京ビッグサイト)「太陽熱部会」が核となり出展する。
- (3) ホームページを改良し会員サービスの充実ならびに学会活動のPRを図る。

3.3 学会誌編集委員会

- (1) 学会誌「太陽エネルギー」をVol.44, No.3(通巻245号)～Vol.45, No.2(通巻250号)までの6回発行する。学会誌の会告を補完するため、ニュースレターを発行する。
- (2) 太陽エネルギー利用に関連する教育講座や国際会議報告、研究室紹介等を掲載し、幅広い会員に親しめる学会誌編集を行う。
- (3) 英文投稿を促進するため、査読規程、著作規程等の英文化を推進する。

3.4 出版委員会

「新太陽エネルギー利用ハンドブック」(第1刷ならびに第V編)の完売に向けて拡販を図る。

3.5 国際交流委員会

GRE2018 国際会議へ向けた再生可能エネルギー協議会および国際太陽エネルギー学会との協力関係による企画準備を進める。さらに韓国太陽エネルギー学会(KSES)、中国再生可能エネルギー学会(CRES)等との合同研究発表会における国際セッション設置に向けた学会協力の可能性を探る。

3.6 研究発表会運営委員会

- (1) 平成30年度 JSES/JWEA 合同研究発表会は「くにびきメッセ」(松江市)において平成30年11月7日(水)～9日(金)に開催する。
- (2) 論文募集にあたり技術分野のキーワードを細分化して適正なプログラム編成に努める。
- (3) ポスターセッションを設け聴講の機会を増やす。
- (4) 特定テーマの特設セッションを設け新技術について公開討論を行う。
- (5) 見学会は平成30年11月7日(水)に開催する。

3.7 学会活性化委員会

各種委員会、部会活動、会員相互の連携により会員増加に努める。

3.8 学会規定委員会

各種規定の整備・見直し, 改定を推進する.

3.9 表彰委員会

「論文賞」(押田賞を含む), 「奨励賞(一般部門, 学生部門)」, 「功労賞」, 「学会賞(学術部門)」, 「学会賞(技術部門)」, 「社会貢献賞」の受賞者を選考し, 研究開発ならびにその実用化促進に関する優れた業績を顕彰する.

なお, 「奨励賞」については研究発表会において予備審査を行う.

3.10 再生可能エネルギー安心社会構想委員会

平成 24 年から継続開催している再生可能エネルギーによる安心社会を構築するため研究発表会において公開講座を企画する.

4. 各種部会

会員相互交流の他, 新規会員の拡充を図るため, 各部会において勉強会, セミナー, 講演会等を企画運営する.

4.1 太陽熱部会(部会長: 山田 昇)

- (1) 太陽エネルギー利用設備の見学会(8~11月予定)
- (2) 「第13回再生可能エネルギー世界展示会」
(平成30年6月20日~22日)出展協力
- (3) 「エコプロダクツ展2018」出展(平成30年12月6日~8日/東京ビッグサイト)
- (4) 太陽エネルギー利用セミナー・講演会の実施
- (5) 太陽熱利用技術に関する e-Learning 教材
熱部会 Web サイトを通じて提供

4.2 太陽光発電部会(部会長: 加藤和彦)

- (1) 太陽光発電セミナーを2~3回開催
- (2) 平成30年度 JSES/JWEA 併設イベント企画
- (3) 日本電気協会「需要設備 保安管理分科会・保安管理小委員会」への参画

4.3 ソーラー建築部会(部会長: 太田 勇)

- (1) 「先進的ソーラー建築・省エネ建築」見学会の実施
- (2) 「(仮称) 省エネ建築における新たな潮流[蓄熱]」等講演会の実施

4.4 光化学・バイオマス部会(部会長: 埴 藤徳)

第9回講演会「太陽エネルギーと農業(仮)」(10月予定)

4.5 グリーン水素北方圏研究部会(部会長: 三木康臣)

- (1) 平成30年度研究発表会特設セッション設置招待講演・一般講演
- (2) 第2回G-水素科学会議(11月予定)

4.6 100%再生可能エネルギー研究部会(主査: 秋澤 淳)

随時セミナーを開催

- ・「100%再生可能エネルギー利用に向けて地域社会の取り組み」開催(4月10日開催・東京理科大学森戸記念館)

5. 関西支部の行事(支部長: 光田憲朗)

見学会, シンポジウム等を開催し関西地区会員の啓発活動を行う.

-主な計画-

- ・エネルギー施設見学会(9月12日開催予定)・シンポジウム(12月6日開催予定)・幹事会3回予定

6. 会員増加と財務基盤強化

事業委員会ならびに各種委員会・各種部会を通じ個人会員, 団体会員の増加を図る他, 講演会やセミナー等の事業を強化する. また学会誌や研究発表会予稿集, 学会誌広告掲載を増強して経営の安定化ならびに財務基盤の強化を図る.

平成30年度収支予算

自：平成30年4月1日 至：平成31年3月31日

一般会計

収入の部

(単位：円)

科目	予算
前期繰越金	1,709,361
会費	13,590,000
学会誌	1,920,000
研究発表会	3,280,000
各種事業・講演会	3,100,000
雑収入	130,000
当期収入計	22,020,000
合計	23,729,361

支出の部

(単位：円)

科目	予算
会議費	590,000
学会誌	4,610,000
支部交付金	250,000
賛助会費	123,500
研究発表会	2,750,000
各種事業・講演会	1,310,000
維持経費	4,260,000
人件費	7,535,000
事業税等	70,000
税理事務所報酬	520,000
当期支出計	22,018,500
次期繰越金	1,710,861
合計	23,729,361
正味財産増減額	1,500

特別会計

1. 出版事業

収入の部

(単位：円)

科目	予算
前年度繰越金	28,351
書籍売上	300,000
合計	328,351

支出の部

(単位：円)

科目	予算
経費	60,000
合計	60,000
次年度繰越金	268,351

関西支部 平成29年度収支報告

収入の部

(単位：円)

科目	予算	実績
前期繰越金	518,493	518,493
交付金	250,000	250,000
見学会参加費	100,000	95,000
シンポジウム参加費	100,000	58,000
その他(利子)	0	5
合計	968,493	921,498

関西支部 平成30年度収支案

収入の部

(単位：円)

科目	予算
前期繰越金	456,734
交付金	250,000
見学会参加費	100,000
シンポジウム参加費	100,000
その他(利子)	0
合計	906,734

支出の部

(単位：円)

科目	予算	実績
幹事会会議費(3回)	180,000	156,960
見学会経費	200,000	170,338
シンポジウム経費	150,000	137,466
その他(振込料)	0	0
合計	530,000	464,764
次期繰越金	438,493	456,734

支出の部

(単位：円)

科目	予算
幹事会会議費(3回)	180,000
見学会経費	200,000
シンポジウム経費	150,000
その他(振込料)	0
合計	530,000
次年度繰越金	376,734

(第4号議案)定款改定

【会員種別変更】(2019年度の年会費からの変更になります)

(法人の構成)

改訂前 第5条 次の5種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)上の社員とする。なお、高等専門学校生、大学生、修士課程および博士課程の大学院生、中学校、高等学校、各種専門学校ならびに名誉会員は正会員となる資格を有しない。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 学生会員 この法人の目的に賛同して入会した高等専門学校生、大学生、修士課程および博士課程の大学院生
- (3) 学校会員 この法人の目的に賛同して入会した中学校、高等学校、各種専門学校
- (4) 終身会員 この法人の発展に長年にわたって寄与した正会員で理事会において承認された者
- (5) 名誉会員 この法人に功労のあった者で会員総会において推薦された者

改訂後 第5条 この法人の会員は、次の6種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)上の社員とする。(以下、(1)～(5)文章省略)

(6) シニア会員 満60歳以上の定職に就いていない個人で理事会において承認された者。

(なお、シニア会員の年会費は6,000円とします)

補足：昨年度の会員総会で決定した、【卒業から2年以内の個人会員の会費は、学生会員と同額とする。】場合の会員種別は【正会員】とすることが理事会で決定しました。

【会費滞納期間の短縮】

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員が次の各号の一に該当するときは、その資格を喪失する。

改訂前 (1)2年以上会費を滞納したとき。

(2)総会員の同意があったとき。

(3)死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。

改訂後 (1) 1年以上会費を滞納したとき。

(2)・(3)は変更なし

【名誉会長新設】

提案理由：団体会員の増強を図るため名誉会長職を新設する

改訂前 第23条(名誉理事ならびに顧問)

本会に名誉理事および顧問を置くことができる。名誉理事は本会会長経験者の中から、顧問は学識経験者の中から、理事会の決議を経て会長が委嘱する。なお、名誉理事および顧問は理事会に出席し、顧問は理事会の要請に応じて会議に出席し、会務について意見を述べることができる。但し名誉理事および顧問は議決には参加しないものとする。

改訂後 第23条(名誉会長・名誉理事ならびに顧問)

本会に名誉会長・名誉理事および顧問を置くことができる。名誉会長・名誉理事は本会会長経験者の中から、顧問は学識経験者の中から、理事会の決議を経て会長が委嘱する。なお、名誉会長および名誉理事は理事会に出席し、顧問は理事会の要請に応じて会議に出席し、会務について意見を述べることができる。但し名誉会長・名誉理事および顧問は議決には参加しないものとする。

(第5号議案)第5期役員選任に関する件

本会ホームページ「当学会について」第5期役員一覧・組織 を参照ください